各都道府県から事前に頂いた意見・質問・要望に対する回答と説明会当日質疑応答のまとめ

以下は、アンケートで各都道府県から事前にいただいた意見・質問・要望です。

Ｑ１：受講料･開催費用については　もう少し明確にしていただければ　県卓球協会関係者へ詳しく説明できると思いますので宜しくお願いします。

Ａ１： 説明会当日の資料にございますので、ご確認をお願いいたします。

Ｑ２：全国的に統一された資格ですので、ある程度どこの都道府県で受けても同じ内容（同じ学習効果）が求められると思いますが、模範的なカリキュラム（又は模範講義など）は示されますか。各都道府県協会にお任せでは、内容に地域差が生まれると思いますし、お金を払い、受講する以上はある程度の満足度が求められると思います（特に、教員やクラブチーム関係者が受講者の場合は、ある程度の内容がないと、満足されないかと思います)。

Ａ２：全国で同一の内容の「スタートコーチ講習会」講師用のパワーポイントの資料を用意いたします。コーチ１・２に対し本会は補助金を支給していますが、スタートコーチは 47 都道府県が一斉に開催する可能性があり、一律に補助金対象を広げての支給は厳しいかと受け止めています。

Ｑ３：受講料が開催地に入ったり、コーチ 1、2 のように助成金を頂けたりすると、継続しての開催が可能では無いでしょうか。

Ａ３：受講料が開催地に入り、受講者が 15 名程度で収支バランスがとれます。収支がプラスとなった場合、受講料の一部を受講者へ還元する対応も十分考えられるかと思います。

Ｑ４：テキストの元は送っていただけますか。

Ａ４：テキストの元はお送りさせていただきます。

Ｑ５：来年度のスタートコーチ開催についての注意点などを教えて下さい。

Ｑ５：本日の説明会資料にてご確認をお願いいたします。

Ｑ６：講習会をするにあたり資料やパワーポイント等は準備していただけるのか？

Ａ６：すでに本日の説明会にてお話をしておりますが、講習会講師用のパワーポイントを現在準備中です。また、事務的な手続きに関する作業の流れも資料として掲載しております。

Ｑ７：新しい制度なので始まってみないと分からないという部分はありますが中学の地域移行の話もありますので前向きに取り組んでいきたいと思います。
Ａ７：有難うございます。宜しくお願いいたします。

Ｑ８：基本は外部指導員だが、登録の仕方がそれぞれで、連盟登録をしていない人にはどの様にしていくかが決まっていない。今後、各都道府県登録が出来ることなのか不安である。理由：金額が高い（個人登録・連盟＋日卓協会＋スポーツ協会等)。
Ａ８：スタートコーチは、各都道府県および日本卓球協会にて登録となります。教員は、登録承認までの期間が短く、さらに登録のための金額は一般の登録者と比較して低く設定されています。

Ｑ９：養成カリキュラムがありましたら、ご教授ください。
Ａ９：本日の説明会の資料でもご確認いただけます。

Q10：①集合講習会は、共通科目 3.5 時間＋専門科目 4 時間となっていますが,共通科目の講師は、各県のコーチが担当しますか？
A10：各都道府県の指導者養成担当者が中心となって担当をお願いいたします。

Q11：②共通科目の担当が各県のコーチの場合、リファレンスブックのポイントをまとめた資料（パワーポイント）の提供が、日本卓球協会よりありますか？
A11：本日の説明会の資料でもご確認いただけます。

Q12：③共通科目の部分は、各県のコーチが講師を担うレベルでない時や自信がないなどの理由から県スポーツ協会・日本卓球協会等へ講師を依頼した場合には、派遣していただけますか？
A12：県スポーツ協会への依頼について確認はできておりません。日本卓球協会への依頼は責任をもって対応させていただきます。

Q13：④日本スポーツ協会のホームページにてリファレンスブックの価格を見ますと 4,840 円とありましたが、今回は、1,650 円と安価です。スタートコーチ用のリファレンスブックが発行されるのですか？
A13：スタートコーチ用のリファレンスブックは、すでに JSPO が用意しております。

Q14：⑤県のコーチが講師になる場合、事前学習の必要があります。講師のリファレンスブック購入は 1,650 円で購入できますか？　各県へ無償配布していただけますか？
A14：はい、1,650 円で購入できます。講習会が開催される 1 か月前には受講者の手元に届くよう手配します。各県への無償配布はできかねます。

Q15：⑥専門科目は各県のコーチが実施すると認識していますが、間違いはありませんか？
A15：間違いありません。

Q16：⑦専門科目テキストが 1,870 円となっておりますが、この専門科目テキストはスタートコーチ用で新しく発行されたものですか？　コーチ資格受験の際､｢卓球コーチング教本」を使用しますが、それとは異なったテキストですか？
A16：専門科目テキスト（基礎コーチング教本）は、大修館書店から発売中です。コーチ受験の際、「コーチング教本改訂版」（大修館書店出版）を使用します。

Q17：⑧日本卓球協会へ講習会開催 2 か月前までに受講料を振り込むことになっております。各県が振り込んだ金額のうち、いくら振込先へ返金がありますか？
A17：振込先への返金はありません。

Q18：⑩JTTA 登録料（3.000 円／4 年間）とは別にゼッケン登録が必要ですか？
A18：JTTA へのスタートコーチ登録料は 4 年間で 3,000 円です。ゼッケン登録は毎年支払う必要があり、スタートコーチは、4 年に 1 回の研修会受講が義務付けられています。

Q19：⑪ゼッケン登録をしている場合、3.000 円／4 年の支払いの必要がなくなりますか？
A19：3.000 円／4 年の支払いは、指導者資格を維持する為（研修会）の措置です。

Q20：⑫今後は、コーチ資格を取得していく場合に積み上げていく必要がありますか？
A20：スタートコーチ→コーチ 1 → 2 → 3 → 4 と順に積み上げ、コーチ資質を向上させます。

Q21：担当する講師に必要な資格がありますか。
A21：コーチ 2 以上の指導者資格取得者を講師としてお願いしてください。

Q22：１回の講習人数等の規模はどのくらいを予定しておりますか。
A22：受講者が 15 人程度で収支のバランスがとれます。また、その場合の収支の内容を資料に掲載しておりますので、ご確認願います。

Q23：スポーツ少年団の「スタートコーチ」の資格との関係はどうなるのか。
A23：指導者資格としては同じレベルとなっています。

Q24：各県協会の取組事例を知りたい。
A24：九州ブロック全ての県が、ある一つの県に集まって開催するとの情報を得ています。

Q25：費用の負担者は誰か？
A25：ご本人となっております。

Q26：ニーズがあるかまだまだ未定である。そこを中央はどう考えているのか？
A26：万全なバックアップ体制の構築に取り組みます。

以下は、その他、指導者養成に関するご意見、ご要望等です。

Ｑ１：底辺拡大を含め中学校部活動地域移行化等の対応としてスタートコーチの導入は良いタイミングであると思います。その一方、日本卓球協会の登録との縛りが問題となるようです。
Ａ１：スタートコーチ資格の取得を希望する方は、全員、日本卓球協会登録が前提となります。

Ｑ２：初年度のスタートが大変重要な年になるかと思います。当県の強化担当も、コーチ３やコーチ２を取得した後、けっこう忘れていることも多く、講師を担当できるほどではないと思いますので、ぜひスタートコーチの模範講義などを示していただければ（又は模範講義の受講）大変心強く思います。
Ａ２：模範講義の実施、および模範講義の講師予定者の受講も実施する予定ですが、実施には、予算が絡みます。今後、2024 年度予算案に反映させる予定です。

Ｑ３：全日本選手権の観戦研修を継続して頂き、出来れば全日程で参加可能にして頂けると有難いです。
Ａ３：日本スポーツ協会から登録料の還元金が毎年 400 万円ほどあることから、この金額の一部を指導者の全日本観戦費用に充てることが可能と思われます。予算案に反映させる予定です。

Ｑ４：資格取得の義務化について教えて下さい。
Ａ４：今後、理事会で検討がなされる予定です。日本スポーツ協会は全ての競技団体に 2025 年度に実施をと働きかけております。現時点では、6 競技団体が既に指導者資格を持つ者が全国大会のベンチコーチ義務化を実施しております。

Ｑ５：各県で講習会を行い、資格がとれるという話を聞いています。それで手に入れた資格が意味をなすのか疑問に思っている。
Ａ５：全国で共通（パワーポイント）の資料を活用して実施するので問題ありません。

Ｑ６：高知県では指導者（コーチ２以上）を増やしていきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。
Ａ６：こちらこそ、宜しくお願いいたします。

Ｑ７：毎年担当者会議を開催し情報の共有が必要です。
Ａ７：今後、担当者会議を毎年開催する予定で、2024 年度予算に反映させたいと思います。

Ｑ８：必要に迫っているが、外部指導陣の組織を作って置くことが望ましい。
Ａ８：組織つくりも必要とは思いますが、その為には周到な準備が必要なので、時間がかかることは予想しています。

Ｑ９：スタートコーチ養成講習会の開催マニアルを作成してください。
Ａ９：開催マニュアルを作成し各都道府県に配布予定です。コーチ１・２も作成予定です。

Q10：ヨーロッパ等の現状を見れば、指導者資格が必要なのは理解できるが、実際に中学校や高校の先生等に資格を取ってもらうのは、費用や時間等、難しい面があるのではないか。
A10：教員がスタートコーチ取得の際は、登録期間を短縮し登録費用も低く設定しています。

Q11：①「スタートコーチ」新規養成講習会の開催依頼の中で、「JTTA 事務局→講習会１ヶ月前までにリファレンスブックの発注は講習会２週間前まで」とありますが、自宅学習を事前にやると２週間では遅すぎると思います。１ヶ月前にはテキストが受講者の手元にあることが大切だと思います。
A11：リファレンスブックが１か月前に受講者の元に届くようにします。

Q12：②新しい専門科目テキストが発売されるようでしたら、発売日を出来るだけ早く教えてください。
A12：既に大修館書店から専門科目テキストとして「基礎コーチング教本」が販売されています。

Q13：講師の派遣及び講師となる者の指導者の派遣の依頼はどうか？
A13：日本卓球協会指導者養成委員会事務局にメールをお送りください。対応いたします。

Q14：反社会的勢力内の方々の受講についての対応はいかが致しますか。
A14：反社会的勢力の方々の受講については、極力排除する方向で努力します。

Q15：九州ブロック地区は九州８県のうち１つの県が開催する予定です（開催県は検討中）。
A15：宜しくお願いいたします。

Q16：町の卓球場では、資格のない元選手が、レディース相手に高額のレッスン料で指導している状況と、自費で資格を取りほとんどボランティアで子どもや学校部活で教えている現実の二極化にある。その矛盾点に中央としてか課題解決していくのかも是非ともご検討願います。
A16：全国にスタートコーチ（草の根）指導者資格取得者を増やすことが解決策となるはずです。

以下は、説明会当日の質疑応答の内容です。

Ｑ１：指導者の報酬として適正な金額は？

Ａ１：日本スポーツ協会は、1 時間当たり 10,000 円です。日本卓球協会は 2 時間以上で 30,000 円が基準となっています。開催都道府県で柔軟な対応をお願いいたします。

Ｑ２：スタートコーチは上位者と協力してサポートの立場との説明がありましたが？

Ａ２：スタートコーチは正式な指導者で、一人の場合は中心になって指導を行う立場です。

Ｑ３：スタートコーチの登録料と手数料は高いので、日本スポーツ協会に働きかえるべきでは？

Ａ３：日本スポーツ協会に対しては、登録料と手数料に関してご意見とご質問をさせていただくことにいたします。その内容は、後日お伝えさせていただきます。

文責（葛西順一）